

日本ボート選手権

男子A
女子A
男子B
女子B



女子ダブルス2位、男子ペア3位

戸田中央総合病院チームが表敬

ボート競技の最高峰、全日本ボート選手権大会の男子フォアで、戸田市に本拠を置く戸田中央総合病院ローイングクラブが優勝。女子ダブルスカルで準優勝、男子ペアは3位を獲得した。8選手は2日、戸田市役所を訪れ菅原文仁市長を表敬した。菅原市長は「コロナ禍で病院が大変だったが、皆さんの活躍に多くの市民が勇気づけられた」とチームの栄誉をたたえた。(岸鉄夫)



市長(前列左から2人目)を表敬した田立健太監督(前列左端)と戸田中央総合病院RCの選手たち—2日、戸田市役所

■唯一「戸田」名乗る B)は「全国選手権で戸田」話した。優勝した男子フォア田立健太監督(38)は「中央大を名乗る唯一のチーム。これの勝つと菅一主将(27)は立教大から入部した」と話した。立教大は8

選手を代表して「地域医療を担う病院のチームとして、競技や地域貢献活動に邁進していきたい」と誓った。

好成績を取めたほかのメンバーは、小林雅人さん(31)は日本大学、千葉県立小見川高校OB、植竹祐弥さん(25)は東北大学、国学院久我山高校OB、中曽根祐太さん(22)は中央大学、都立小松川高校OB。

■「よくやった」
最年少の中曽根さんは今年入社したばかり。昨年の同選手権の中央大エイトで惨敗した。

中曽根さんは「エイトに乗った4年生は私を含めて4人で、ぼろぼろに負けて『終わった』と言って3人はボートを引退した。僕だけがボートをやっている」と話す。

しかし、大会当日、同窓の3人は1人が競技会場の観客席に、1人は病気で入院中、もう1人が大阪の勤務地にいた。優勝した後、3人から「よくやった」「すつきりした」と万感の思いを込めたメールが届いた。「私にとってこの大会はすごく特別な大会でした」と中曽根さん。

■バウナंबर
男子フォア優勝艇の先端に

取り付けた艇番号を標記したバウナंबरが同クラブから市長に贈呈された。8人の名前が書かれていた。

「これは貴重なもの。みなさんが持っていた方がいいのでは」と言う市長に、選手たちから「来年も優勝します」。準優勝や3位だった選手たちは「来年こそ優勝します」と話し、市長は「それなら」と受け取った。

準優勝の女子ダブルスカルは柿島麗さん(24)は金沢大学、石川県立七尾高校OBと渡辺花穂さん(24)は中央大学、山梨県立吉田高校OB。3位の男子ペアは高野亮介さん(25)は日本体育大学、愛知県立猿投農林高校OB、根本拓海さん(26)は立教大学、川越東高校OB。